学校番号	313

令和８年度　理数科

教科	理科	科目	理数化学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	化学　Vol.1 理論編　Vol.2 物質編　（東京書籍）						
副教材等	ニューサポート　新編化学（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学とは、物質について学ぶ学問である。私たちが利用する物質のほとんどは先人が構造や性質、化学反応の知識や法則を研究することによって作り出したものである。授業では身近な物質の構造や性質を観察・探究を通じて理解してほしい。また、それらの物質が日常生活や社会にどのように貢献されているか考えてほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
知識定着を通じて、日頃どのように物質を理解し、利用しているのかを知る。
【思考力、判断力、表現力等】
物質の理解を経て、身の回りの現象について考え、その現象について深く考える。
【学びに向かう力、人間性等】
物質への興味や関心を高め、観察や実験に積極的に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学物質や化学現象について、それらがどのように私たちの日常生活に生かされているかを理解し、知識を身に付けている。	観察、実験を通じて化学のさまざまな現象を確認し、そこから論理的に考察して、現象が起こる原因を突き止め、それを具体的に表現することができるようになる。	日常生活や社会との関連を図りながら化学や化学現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、物質の構造や性質、法則を理解しようとする意識を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	化学反応の速さと平行	・化学反応の速さ ・化学平衡 ・水溶液中の化学平衡	a: 化学平衡に関する性質や現象について理解し、基本的な知識を身につけている。 b: 観察や実験の技能を習得し、物質や化学平衡に関する知識を身につけ、得られる結果から計算し、導き出した自分の考えを表現できる。 c: :反応速度や化学平衡についての事象や現象に関心や探究心をもち、意欲的に取り組んでいる。	定期テスト 確認テスト	定期テスト	提出ノート 振り返りシート
2学期	無機物質	・非金属元素の単体と化合物 ・典型金属元素の単体と化合物 ・遷移元素の単体と化合物	a: 無機化合物に関する性質や現象について理解し、基本的な知識を身につけている。 b: :無機化合物に関する実験や観察を行い、得られる結果から考察し、的確に性質や構造を判断できる。 c: 無機化合物に関する基礎知識を得た上で、事象や現象に関心や探究心をもち、意欲的に取り組んでいる。	定期テスト 確認テスト	定期テスト	提出ノート 振り返りシート
3学期	有機化合物	・有機化合物の特徴と構造 ・炭化水素 ・アルコールと関連化合物	a: 有機化合物に関する性質や現象について理解し、基本的な知識を身につけている。 b: :有機化合物に関する実験や観察を行い、得られる結果から考察し、的確に性質や構造を判断できる。 c: 有機化合物に関する基礎知識を得た上で、事象や現象に関心や探究心をもち、意欲的に取り組んでいる。	定期テスト 確認テスト	定期テスト	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度